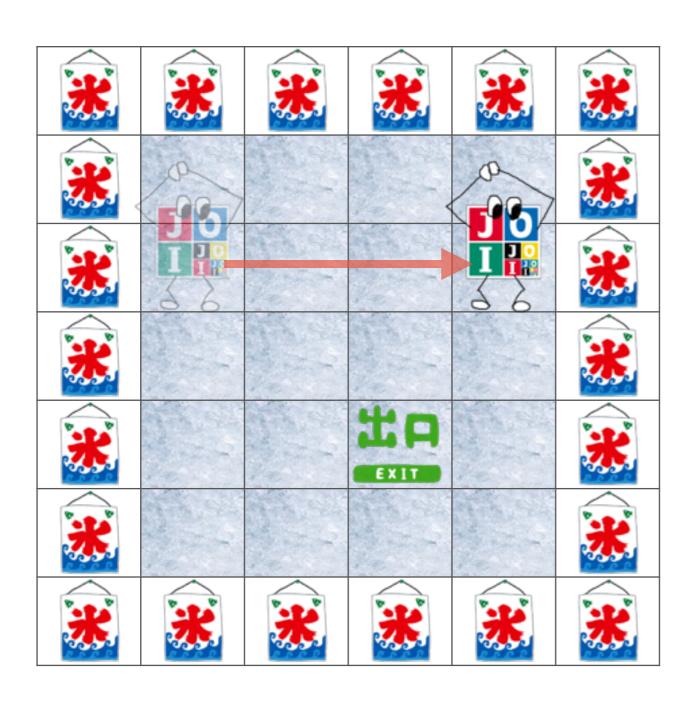
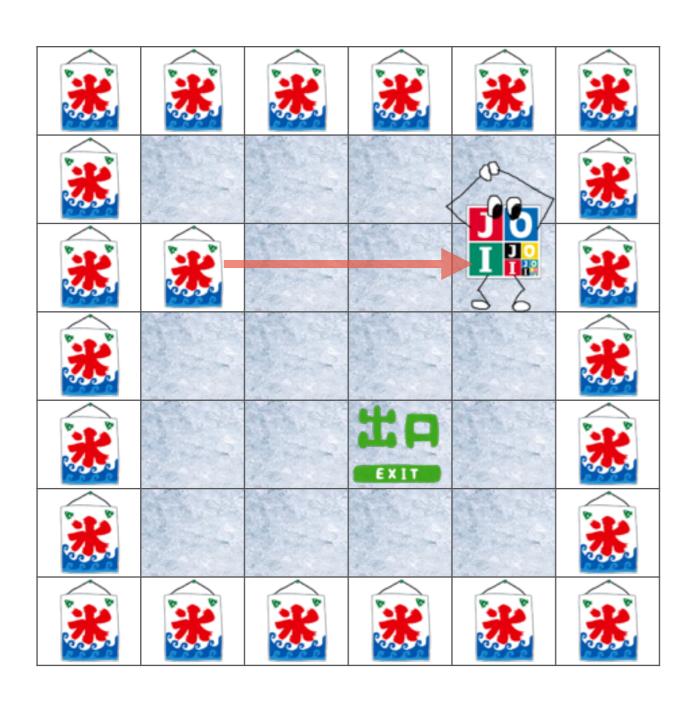
Dangerous Skating 危険なスケート解説

今西 健介 (@japlj)

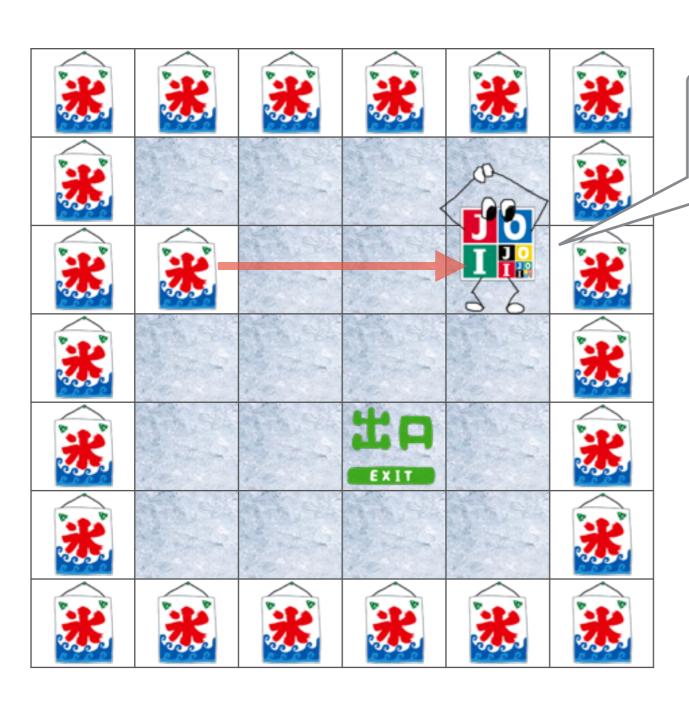
情報オリンピック 2015-2016 春季トレーニング合宿 競技日4

0		
I		
	出A	
		*



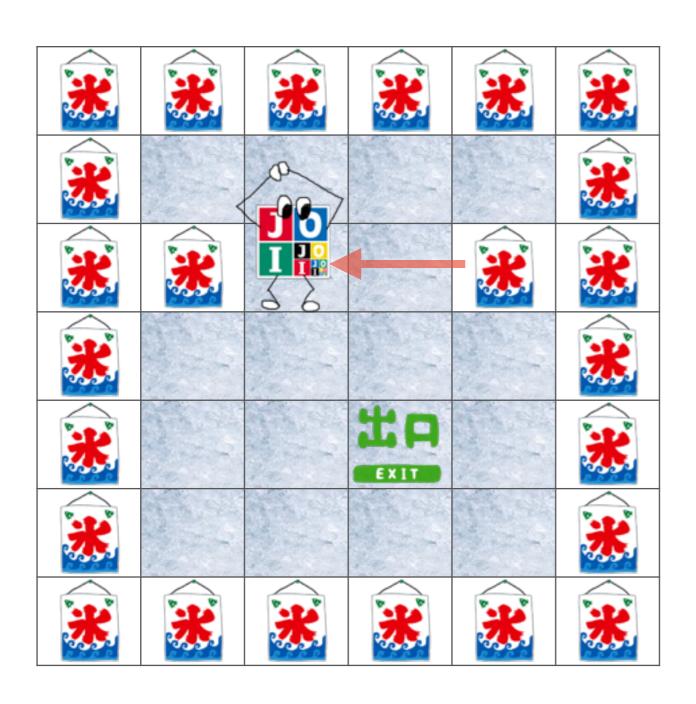


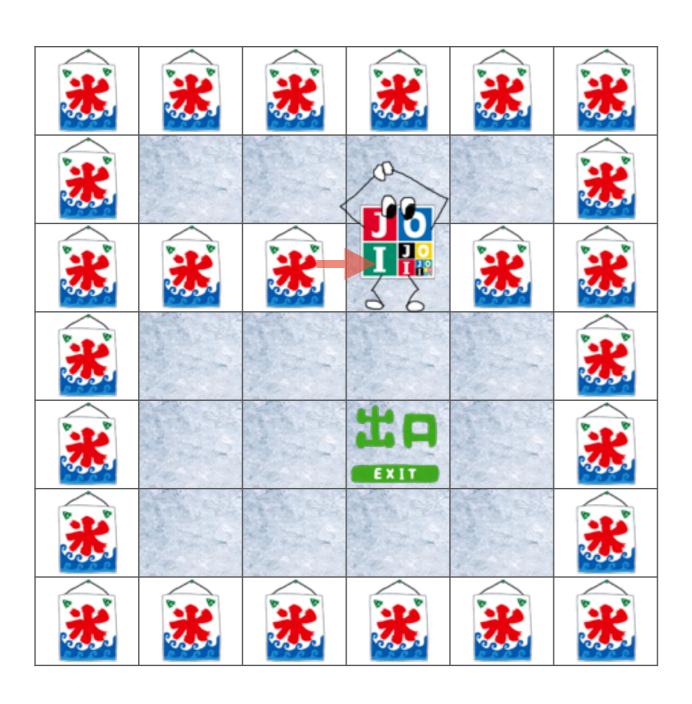
グリッド上で JOI 君がスケートをする

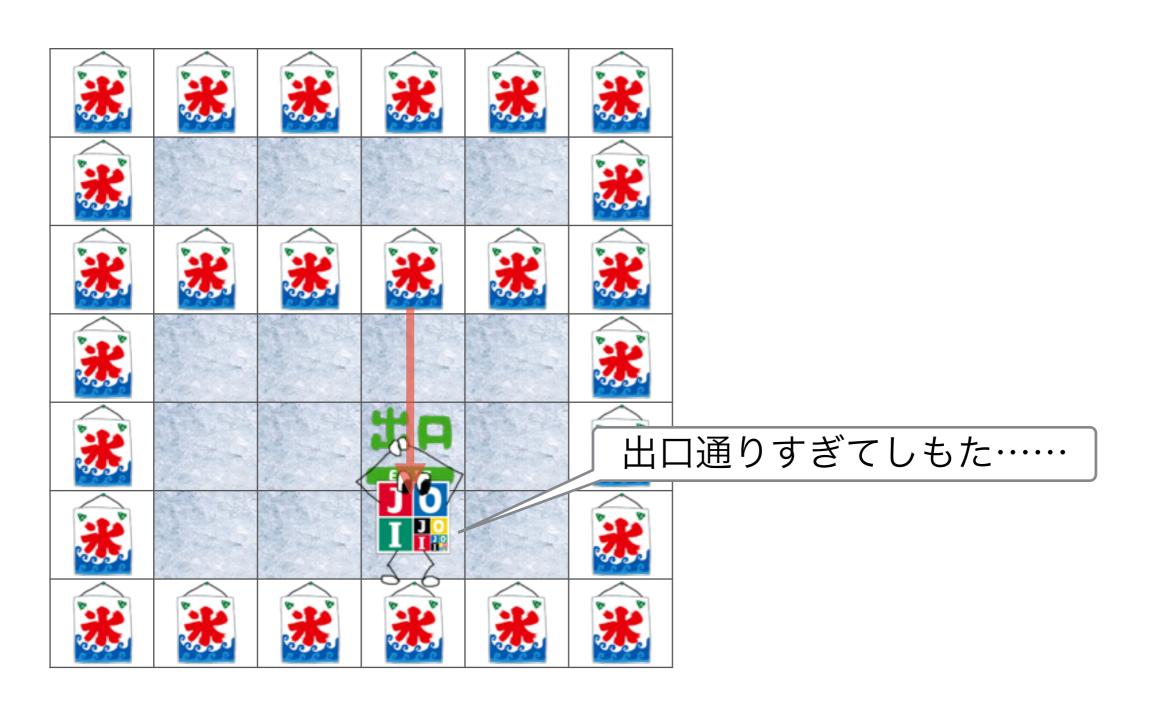


元いた場所に氷塊が!

コワイ!はよ帰ろ……

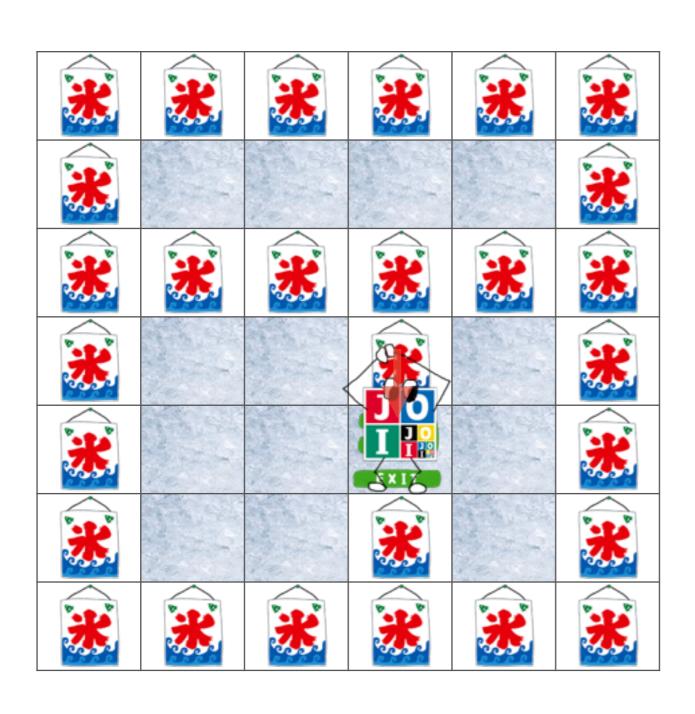






_			
		出日	

グリッド上で JOI 君がスケートをする



縦 R マス, 横 C マス 最短何ステップ?

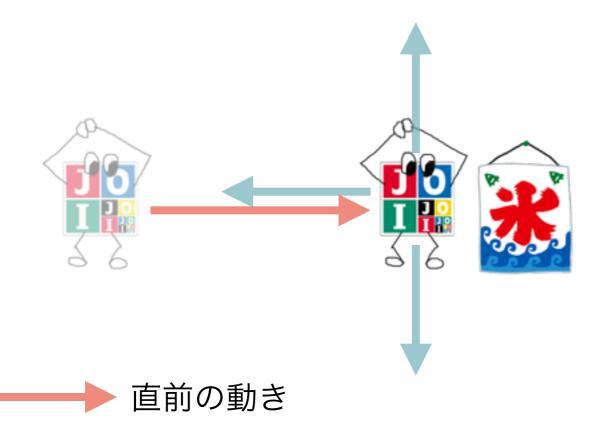
制約

- $R \le 1,000$
- $C \le 1,000$
- ・最初から氷塊のマス有

あきらかな最短路?

最短路問題に見えるが、これまでの動作によって 氷塊の配置が異なる状態になりうる

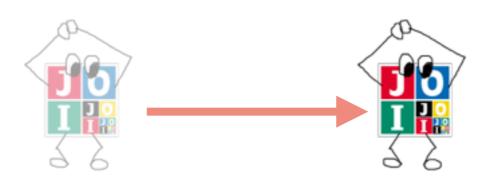
- 位置だけで状態は確定しない



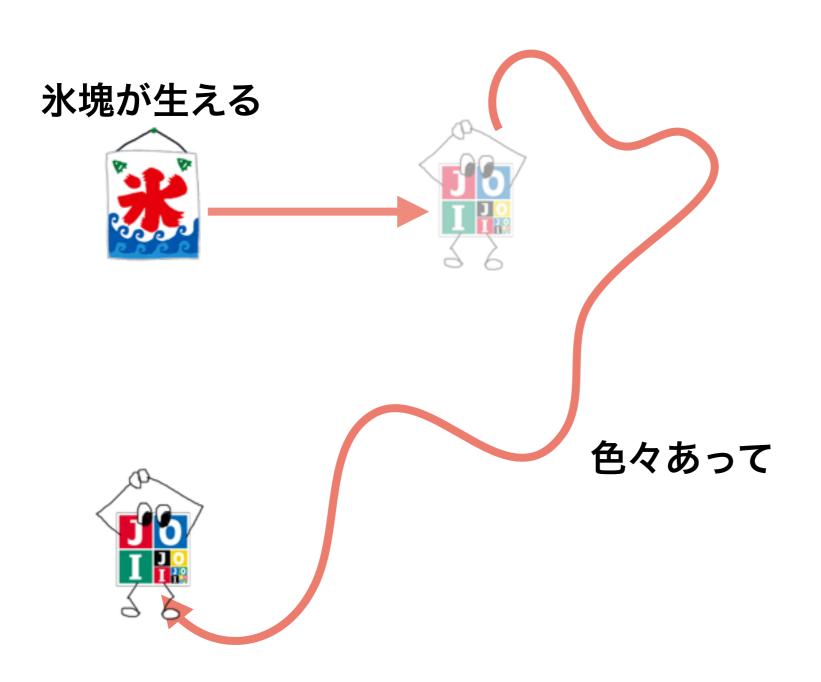
直後の動き

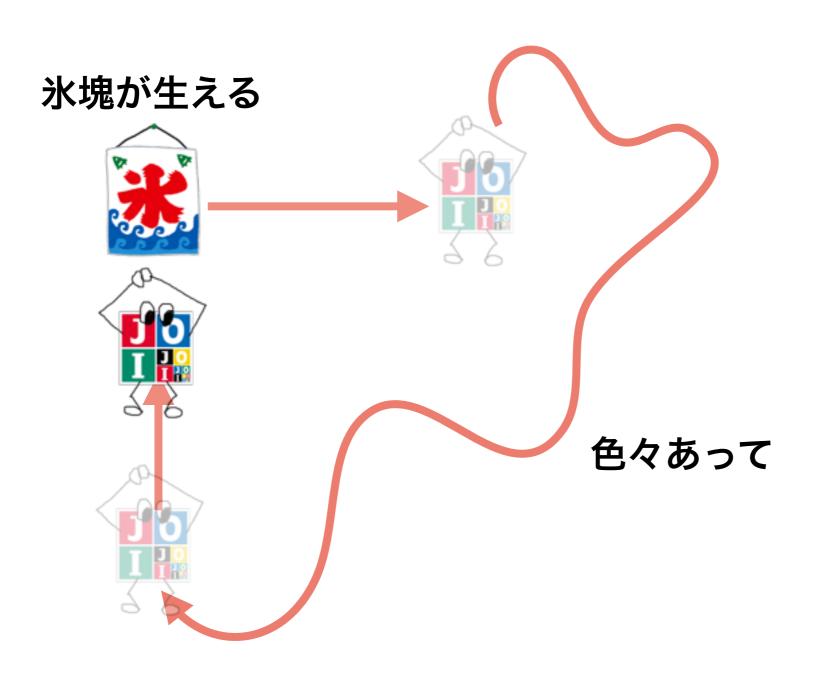
全探索しよう!!

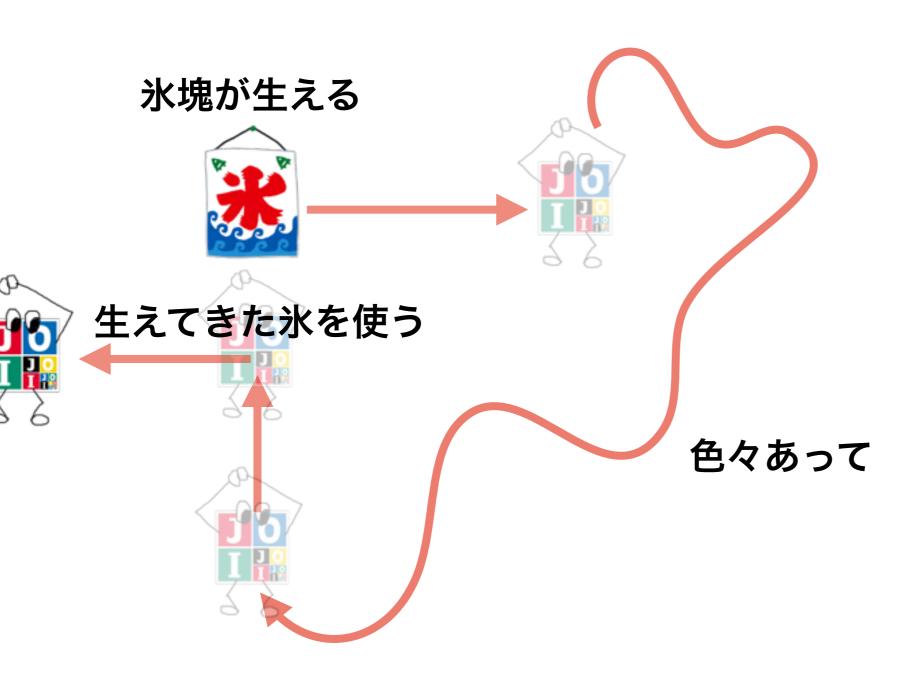
O*(3^{answer})時間で小課題 1 が解ける (13 点)

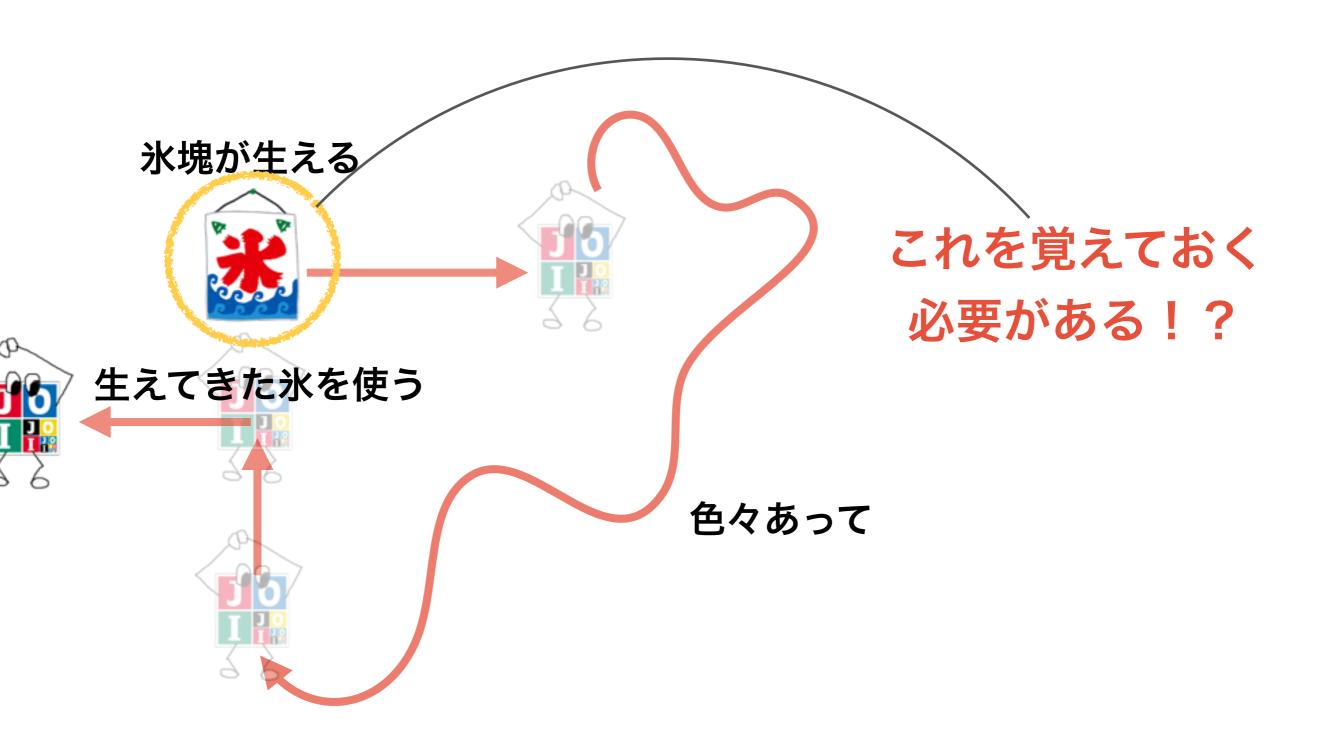


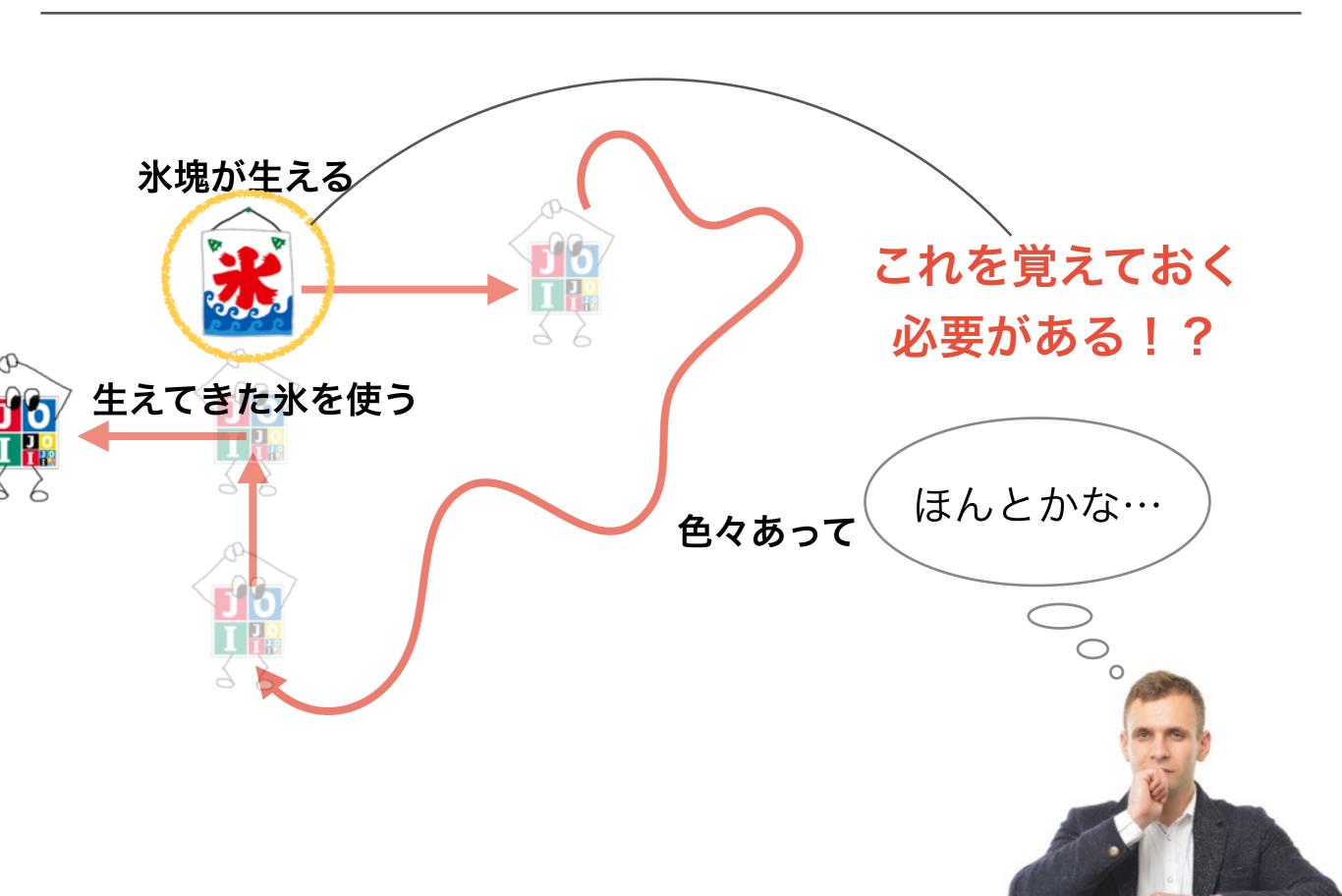
氷塊が生える

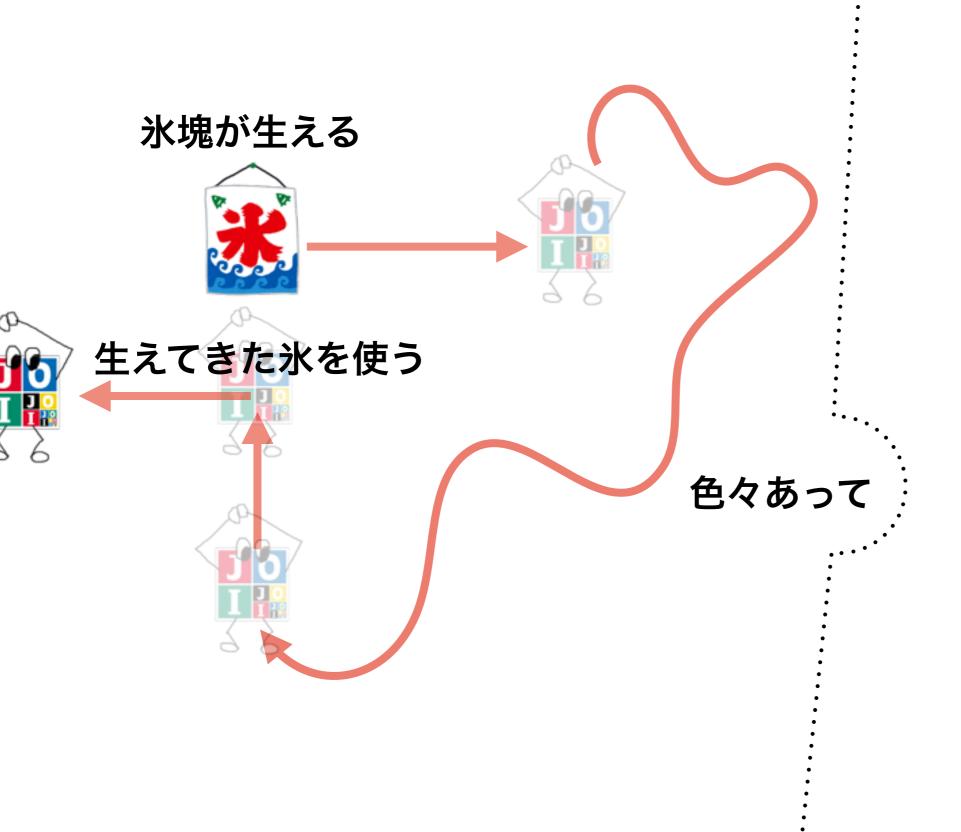


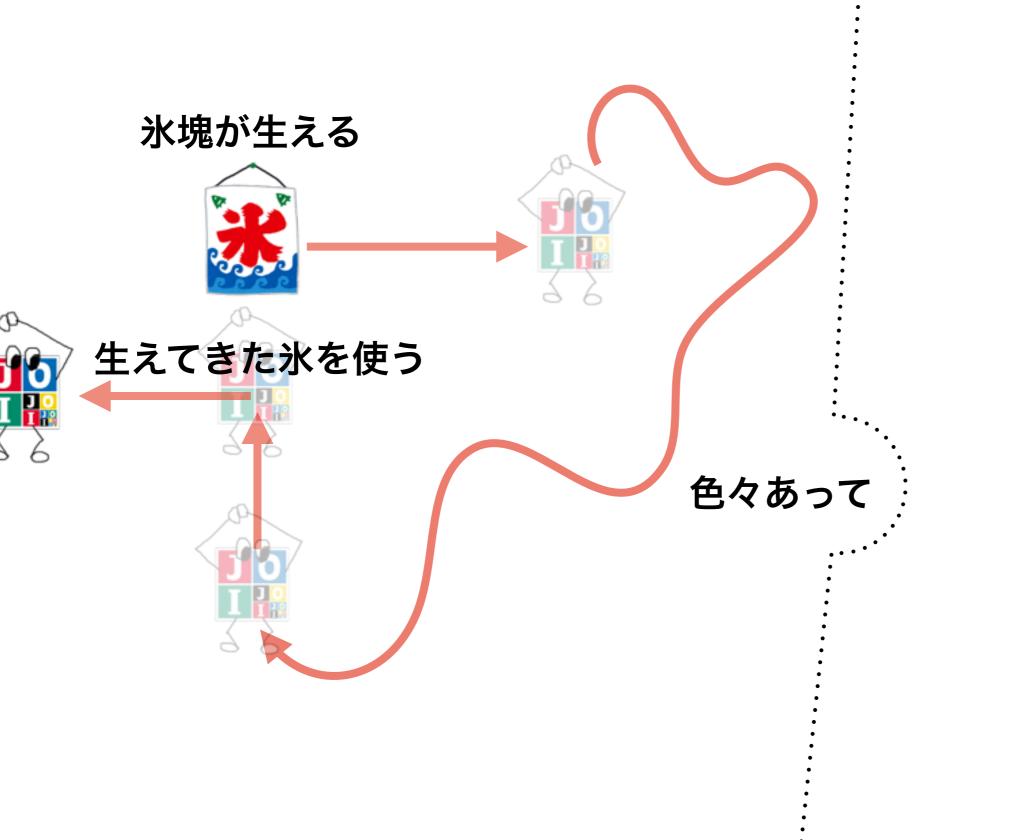


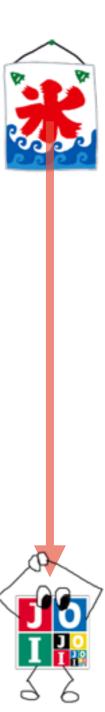


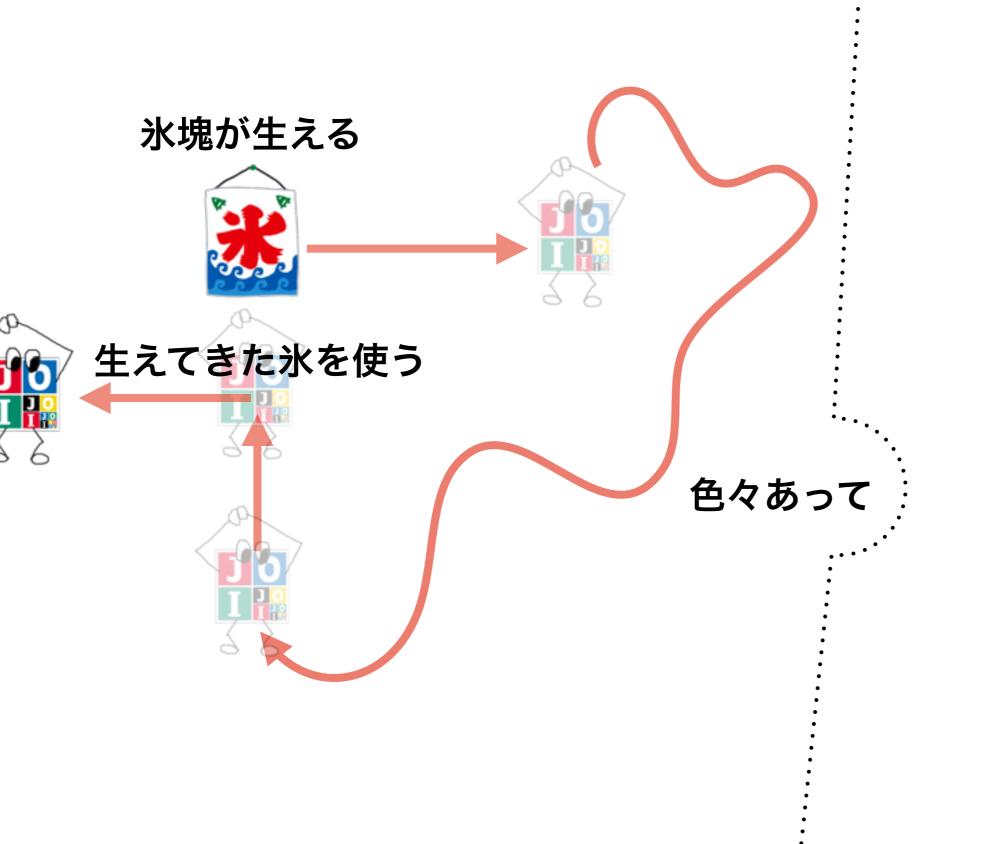


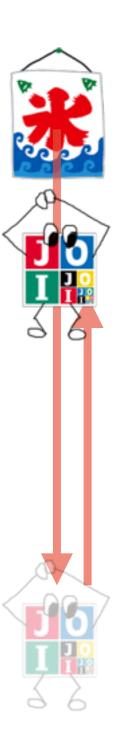


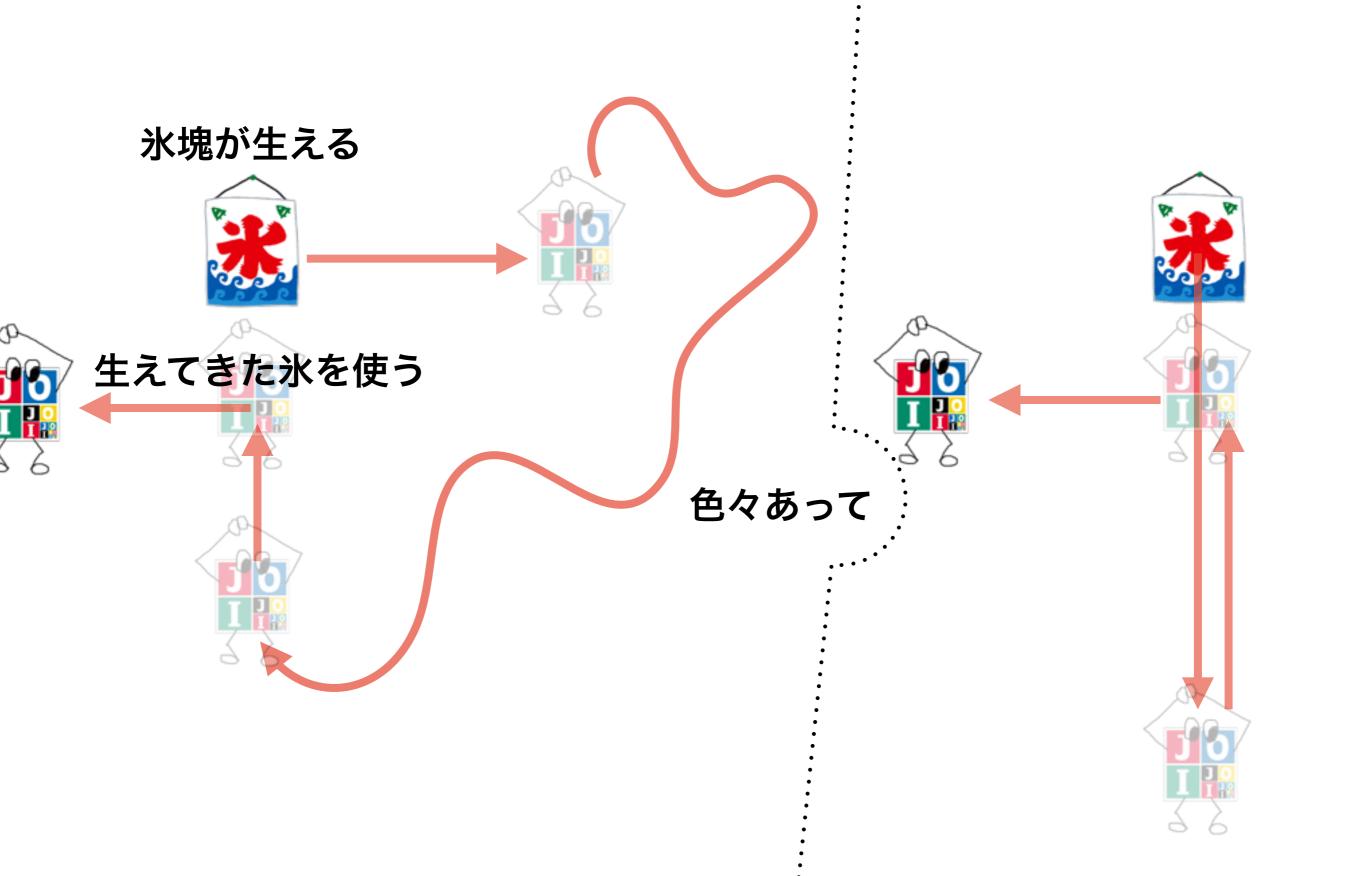




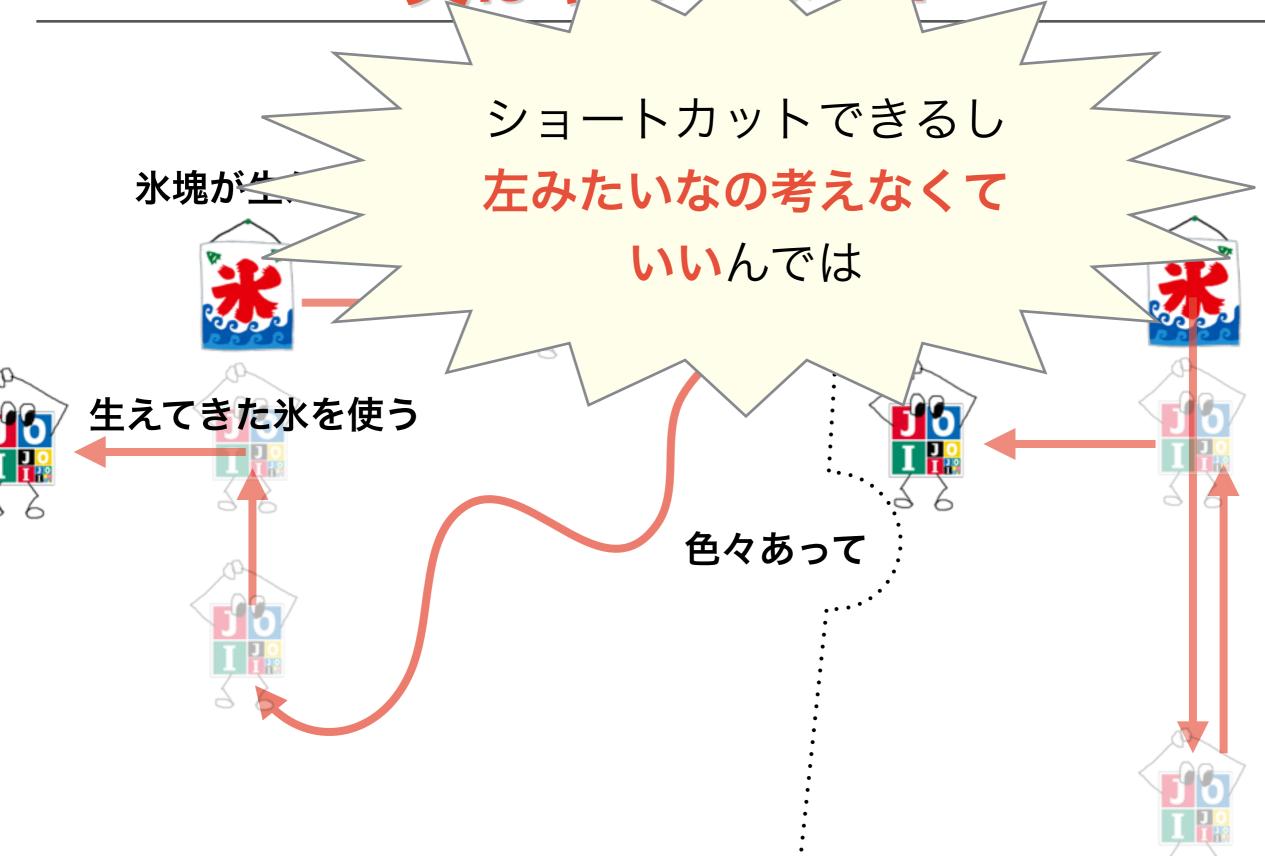












実はかばくない?

ショートカットできるし **左みたいなの考えなくて** いいんでは



生えてきた氷を使う

氷塊が生



後で使う場合

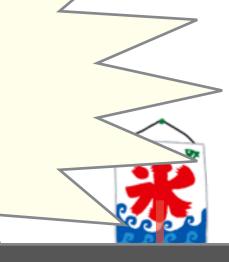
やっぱりやばくない?



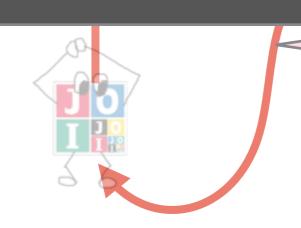
実はかばくない?



ショートカットできるし **左みたいなの考えなくて** いいんでは



実はやっぱりやばくない!



この辺で利して小下つ

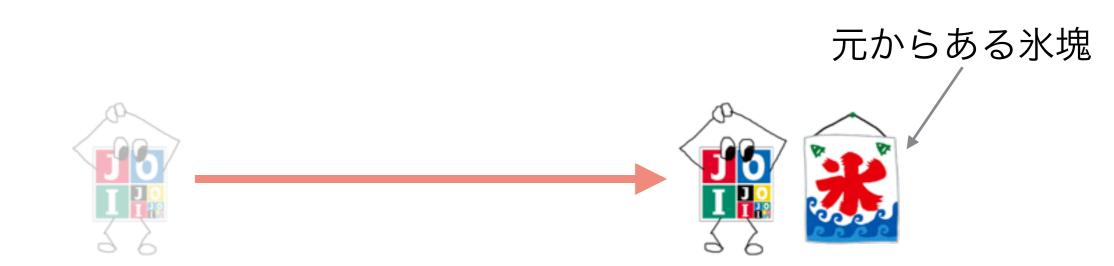
後で使う場合

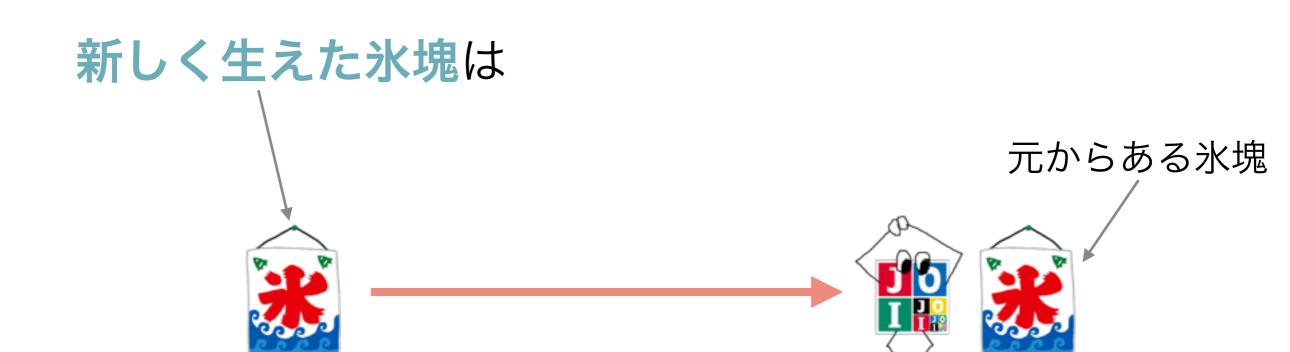
やっぱりやばくない?

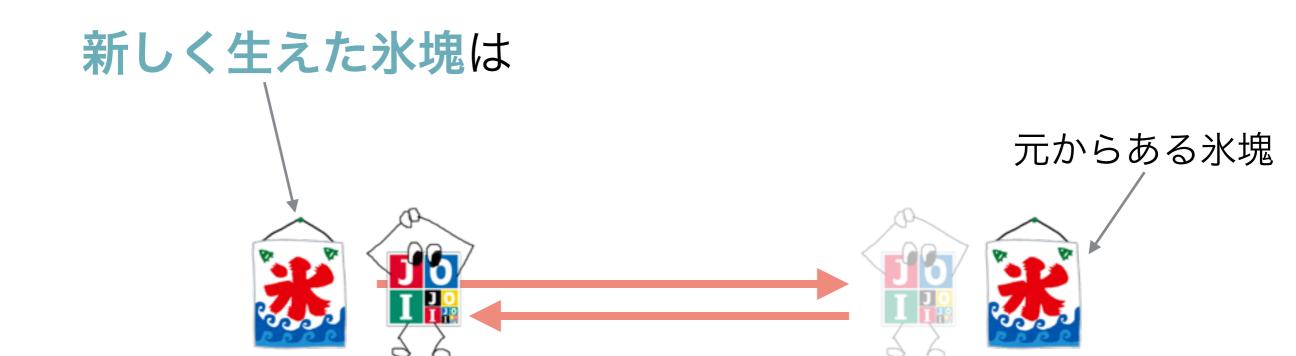


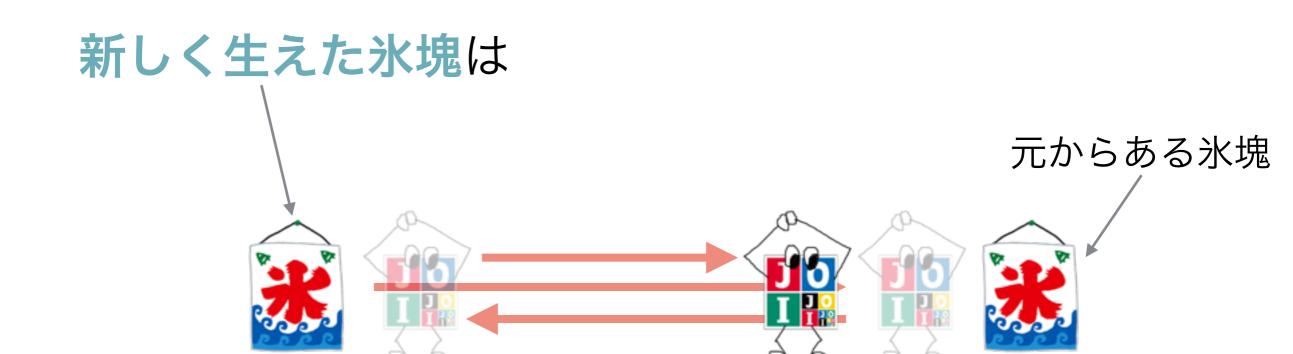


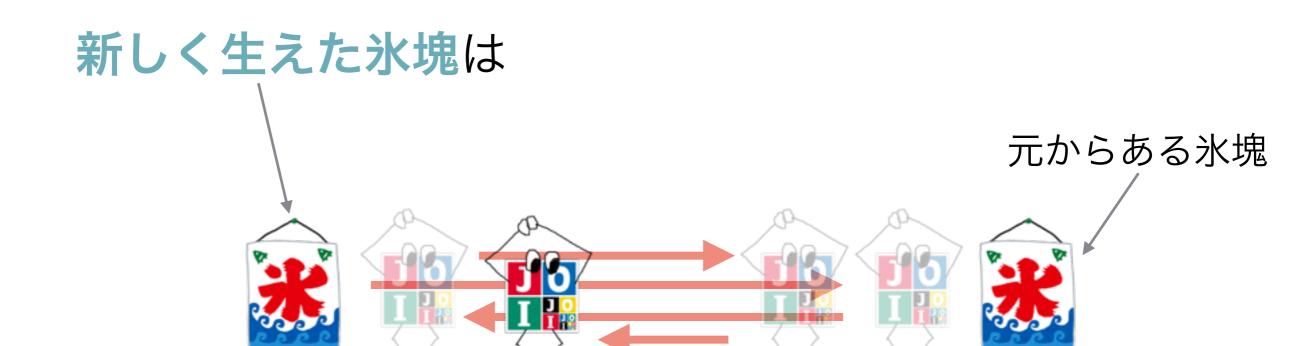
元からある氷塊

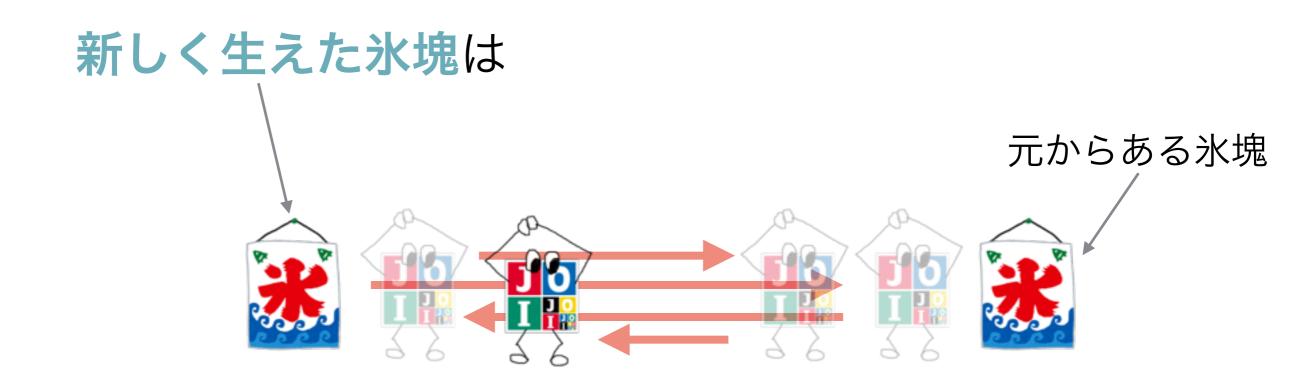




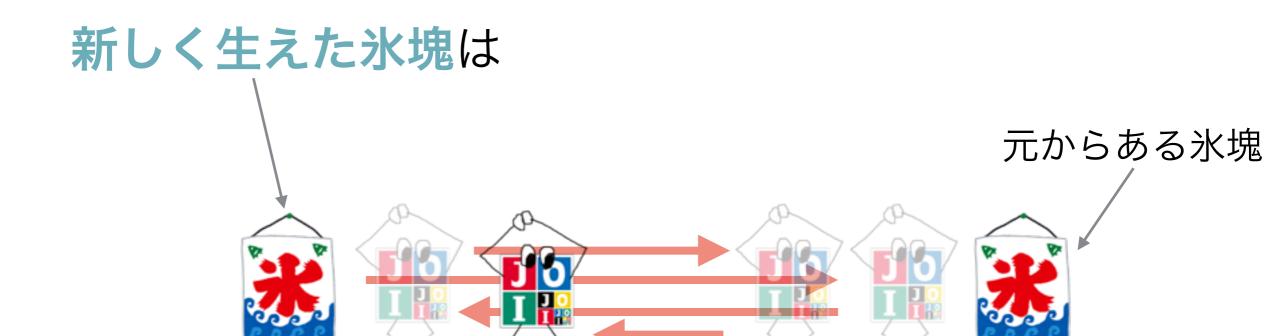








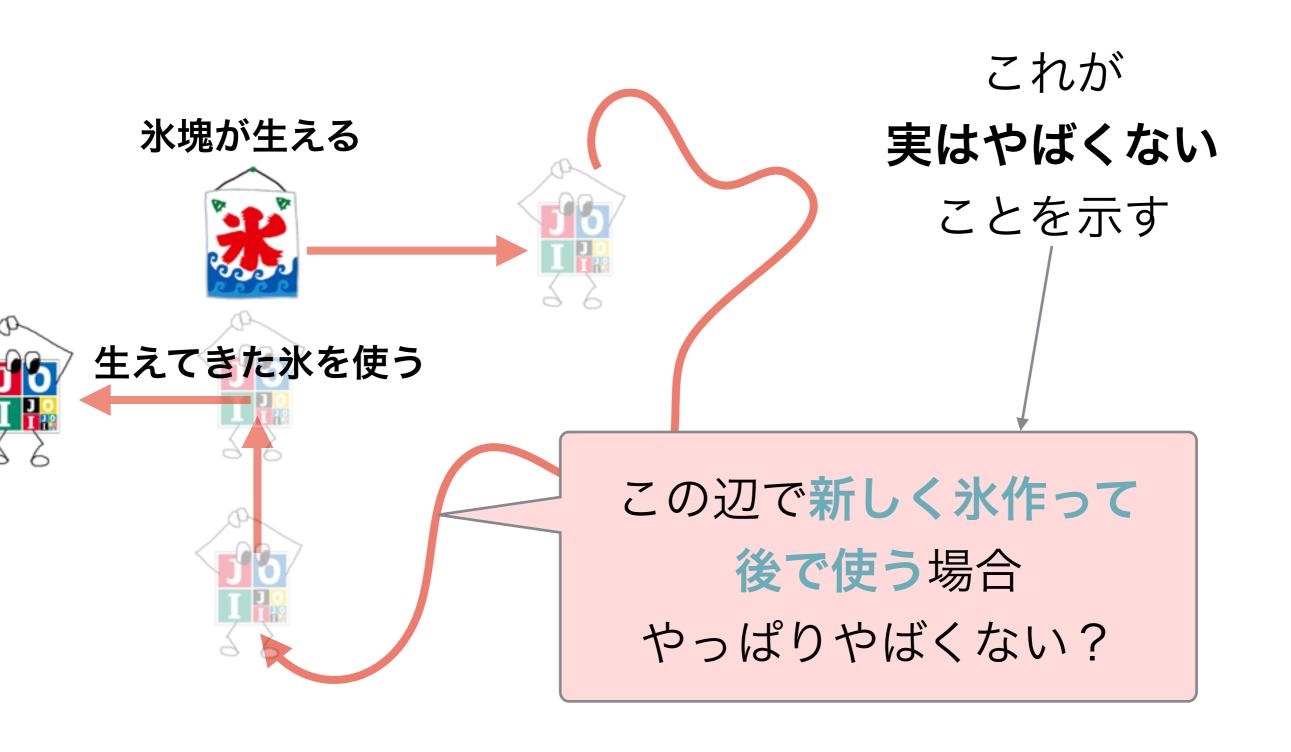
こういう往復運動でしか使わなくてもよいのでは?



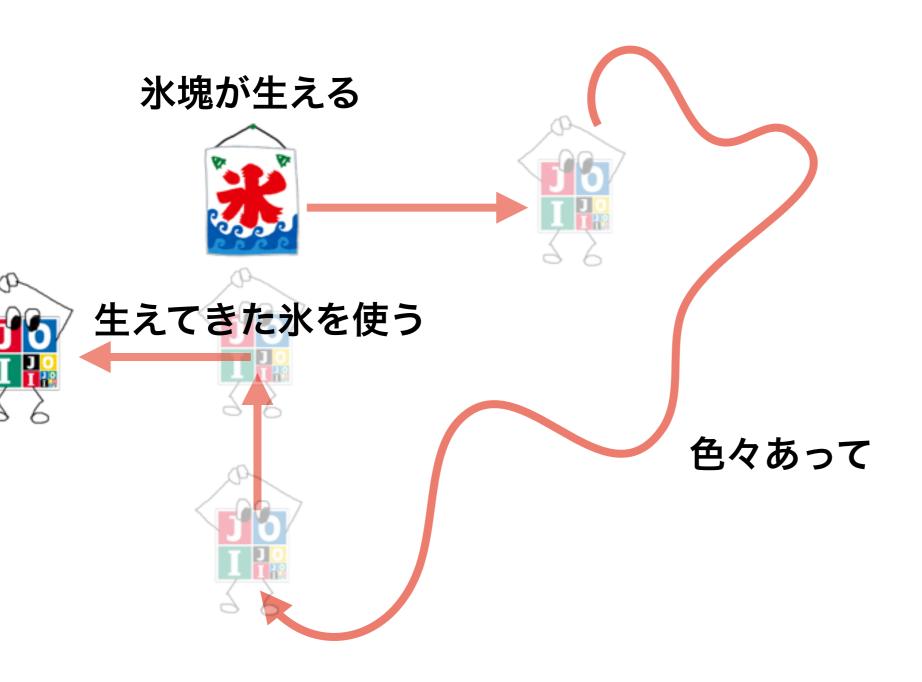
こういう往復運動でしか使わなくてもよいのでは?

証明しよう!

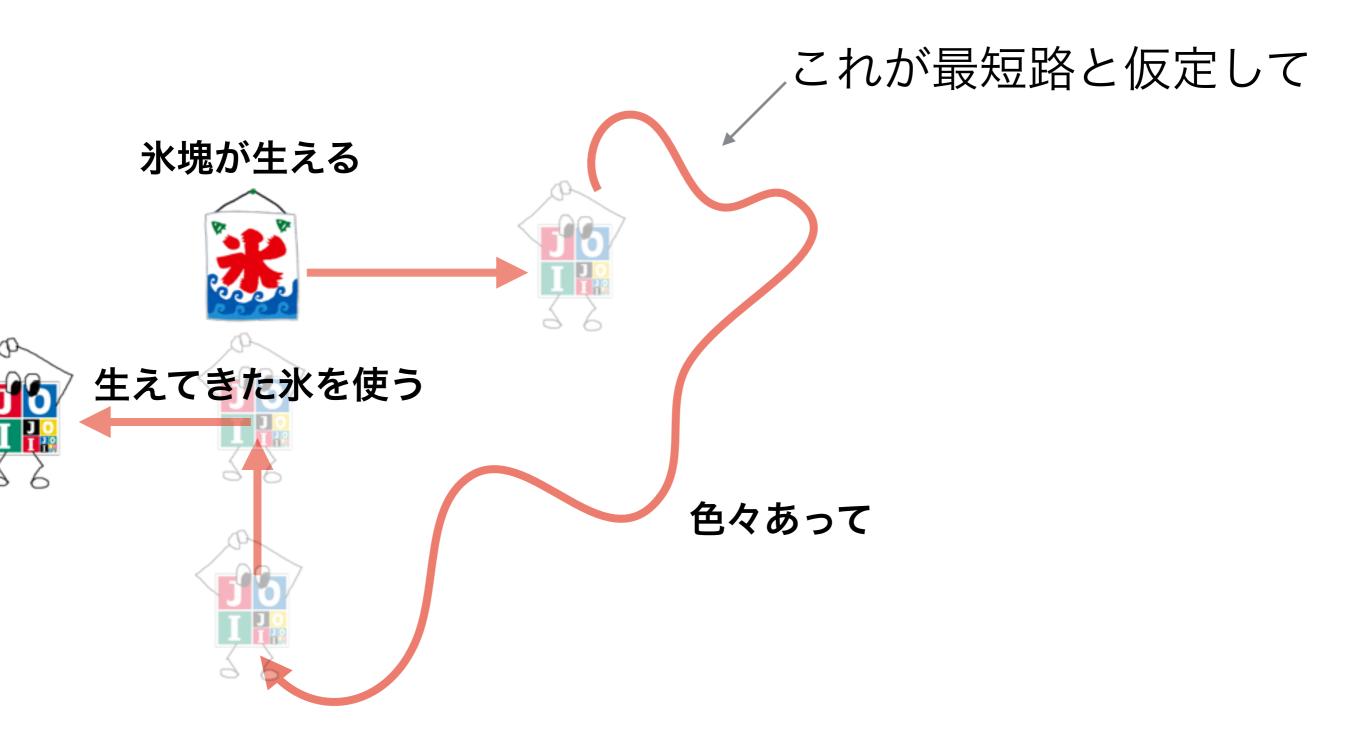
簡単な証明

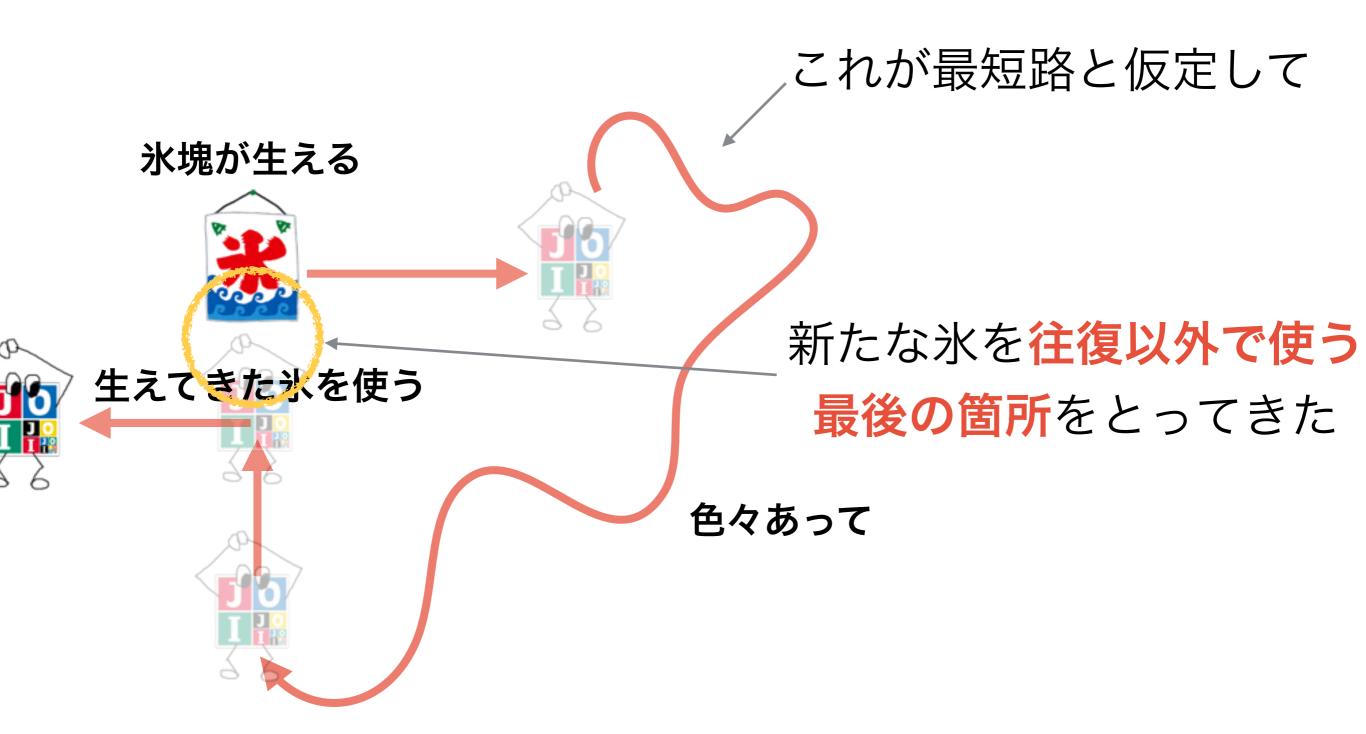


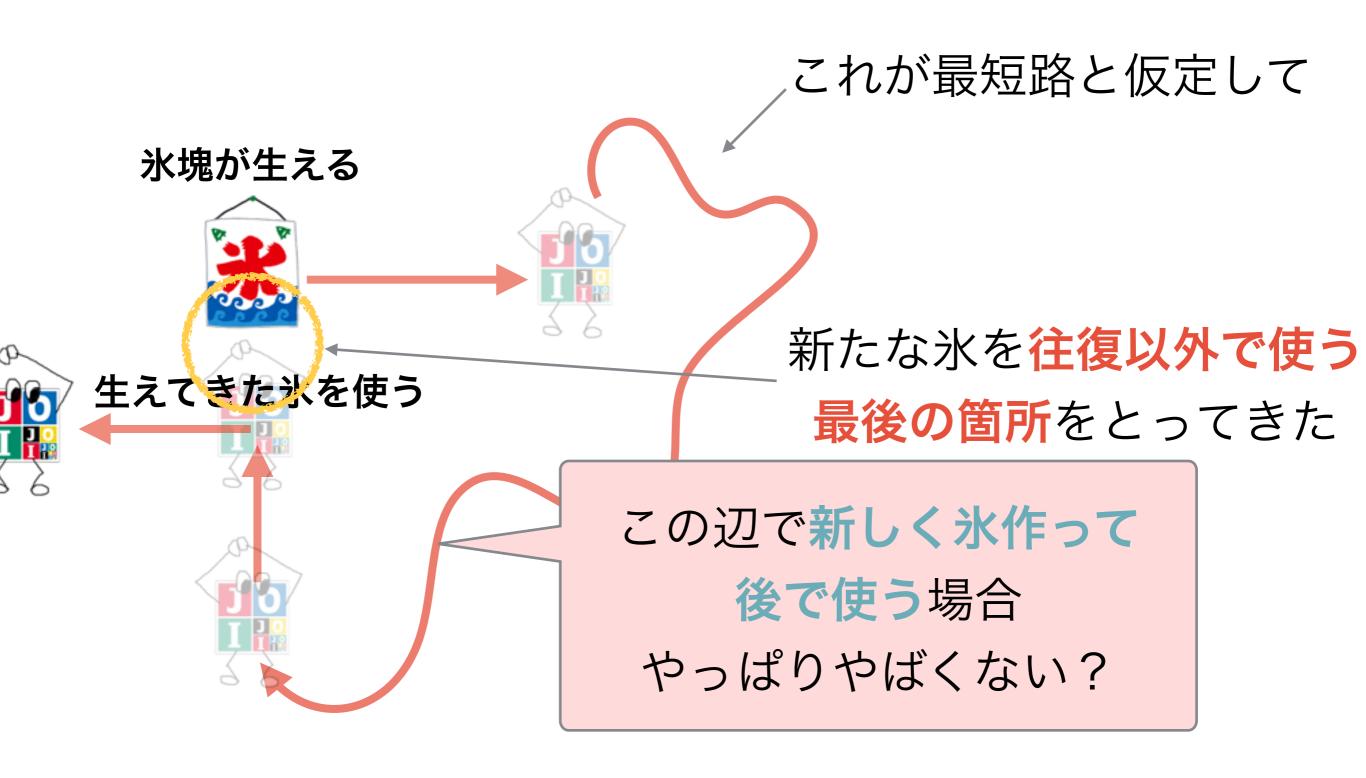
簡単な証明

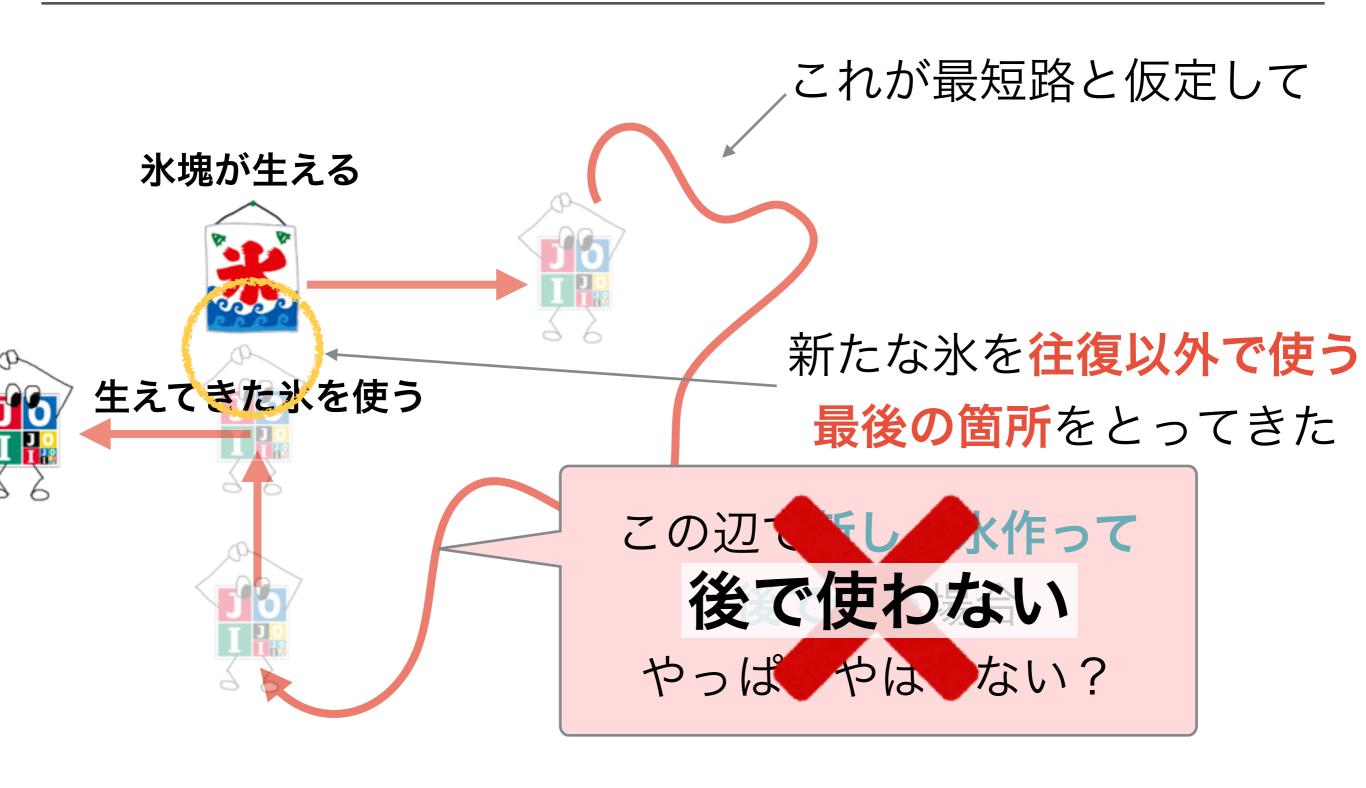


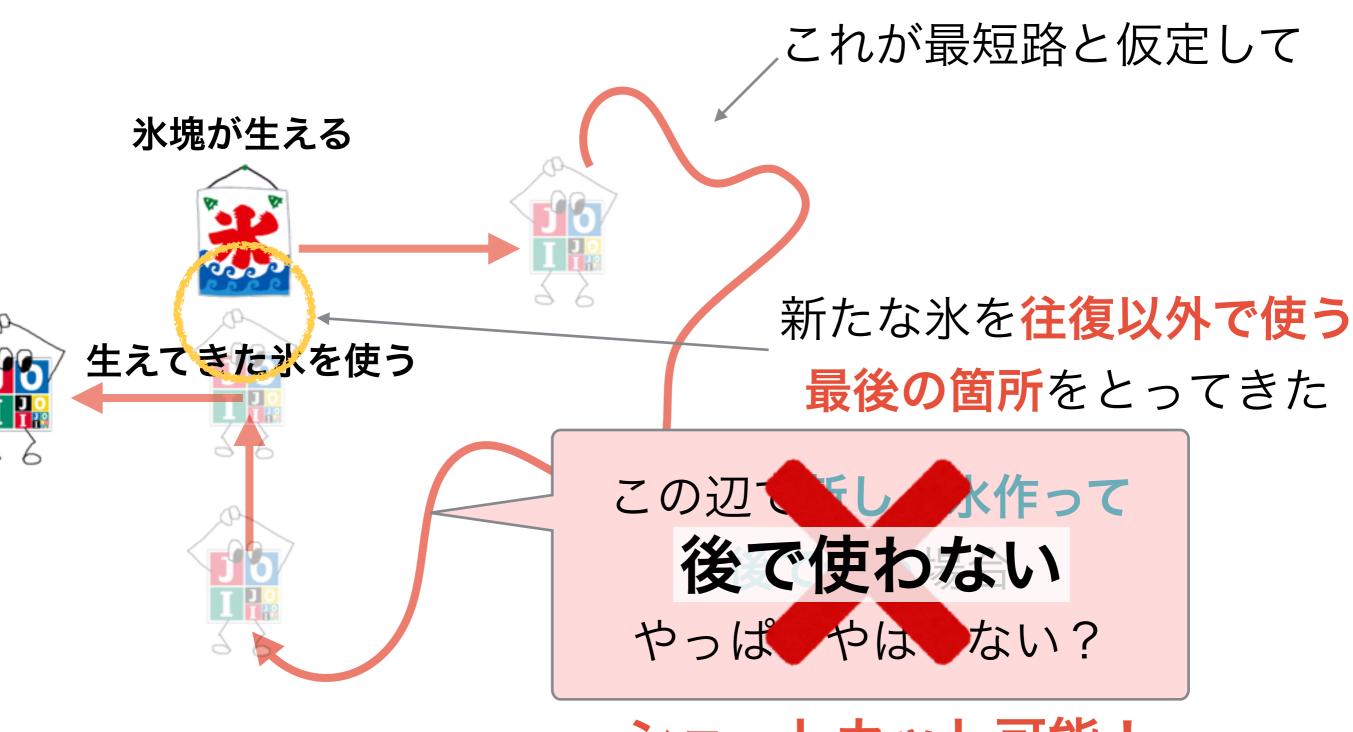
簡単な証明





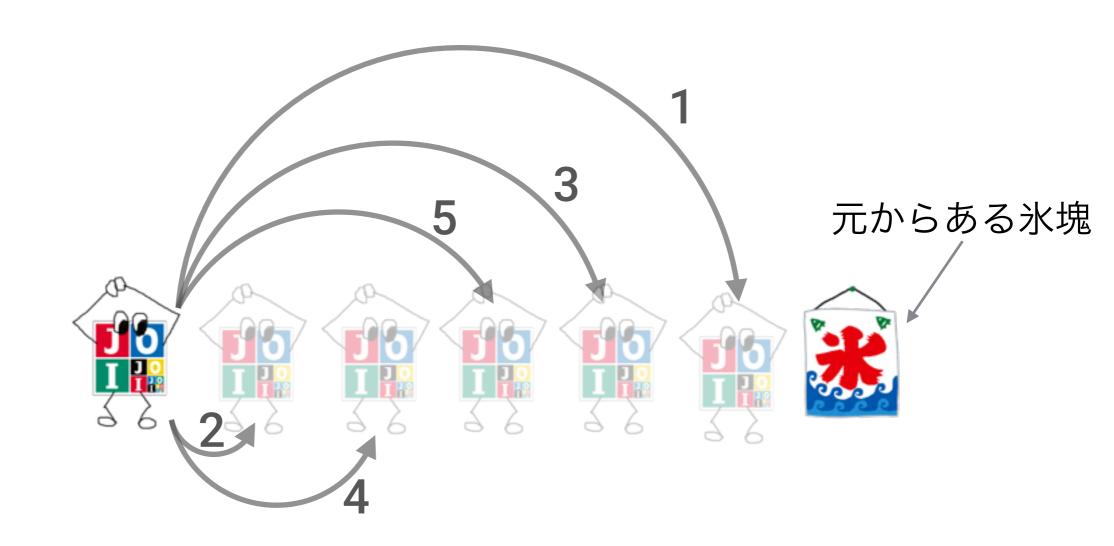






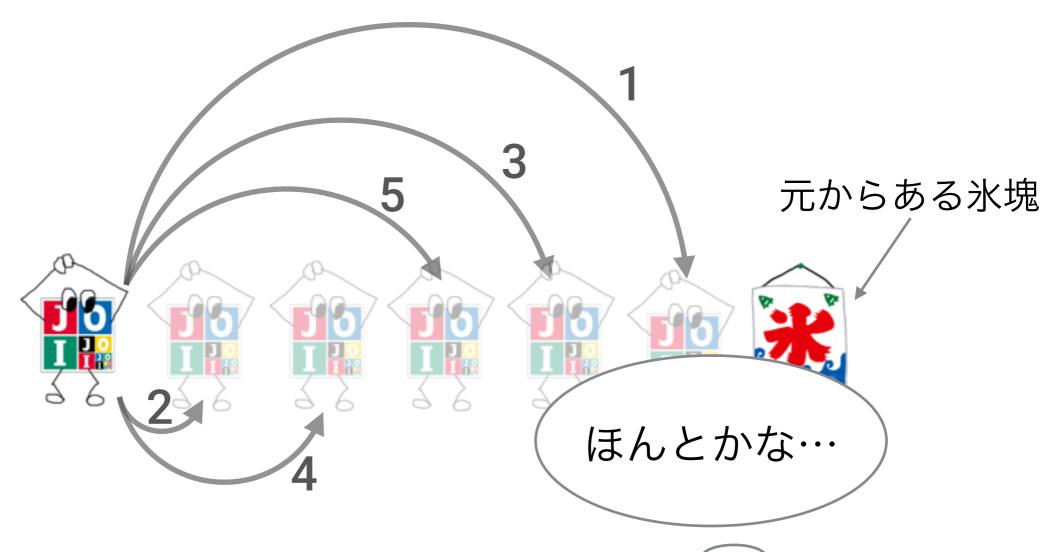
⇒ショートカット可能!

つまり



こういう辺を張って**最短路**を求めれば 良いのでは???? (Dijkstra)

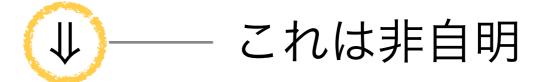
つまり



こういう辺を張って**最短路**を求し 良いのでは????? (Dijk:









↓ - これは非自明

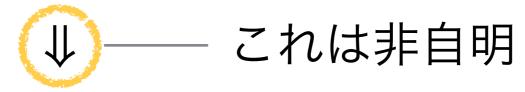
往復だけ考えたらあとは氷塊は無視してよい



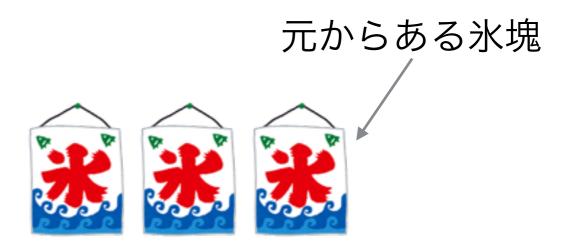
元からある氷塊



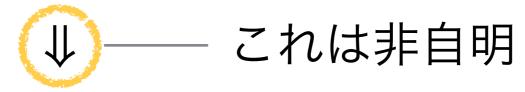


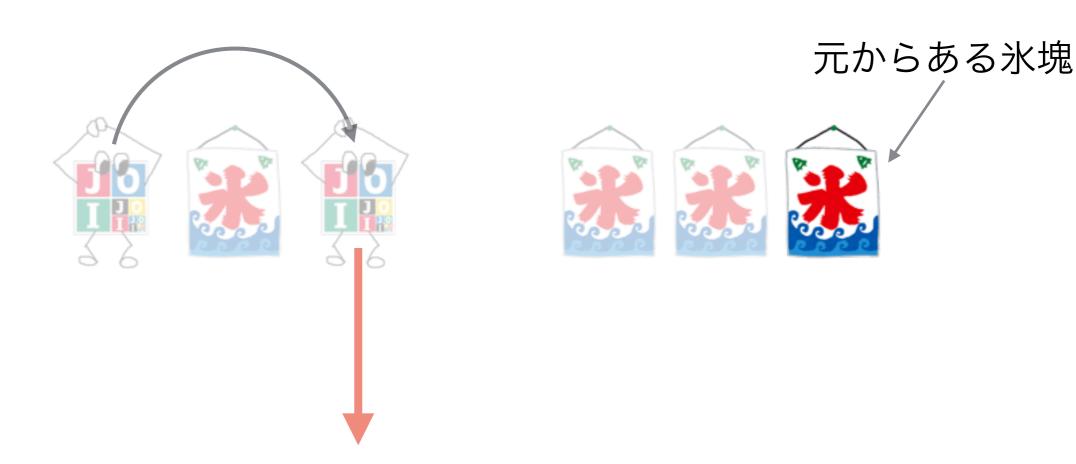




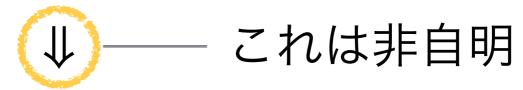


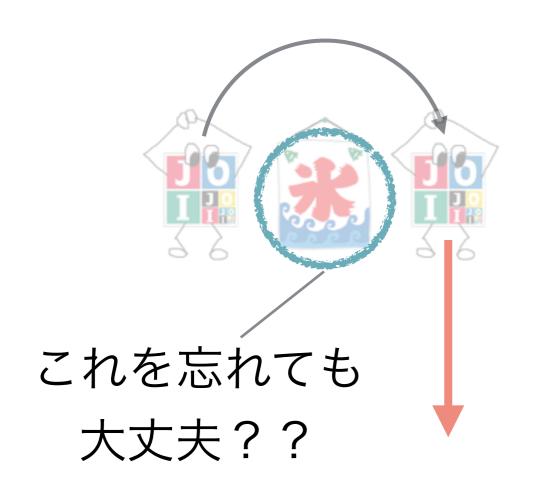
往復以外で新しい氷塊を使わない

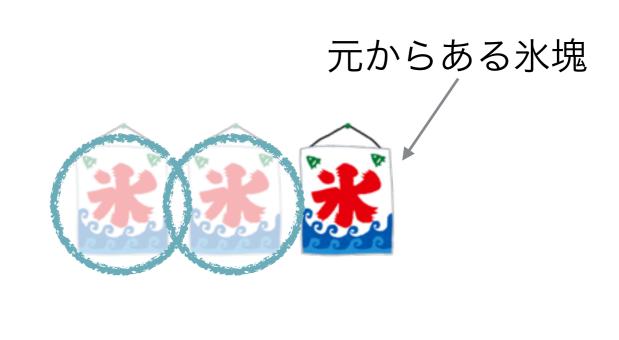




往復以外で新しい氷塊を使わない

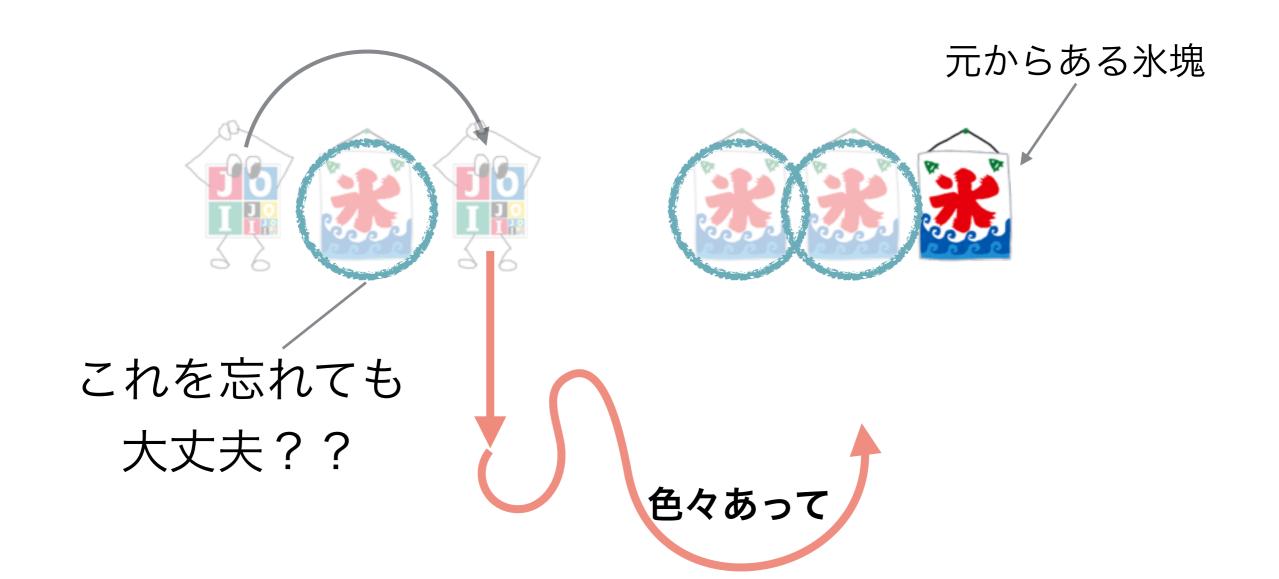




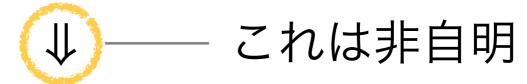


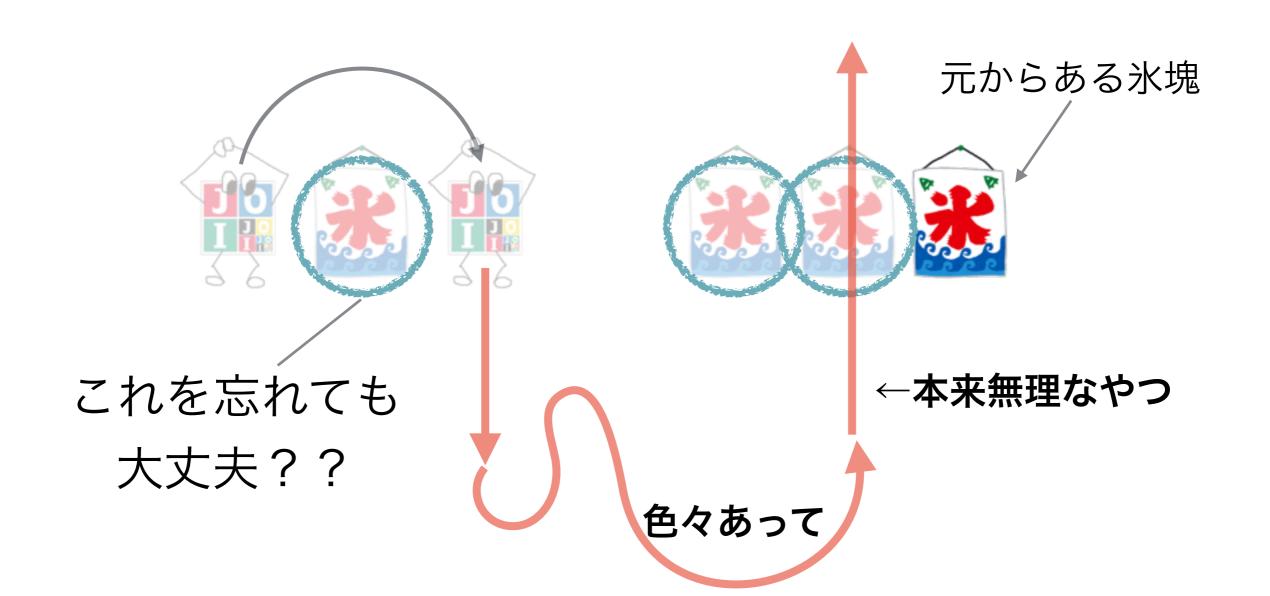
往復以外で新しい氷塊を使わない

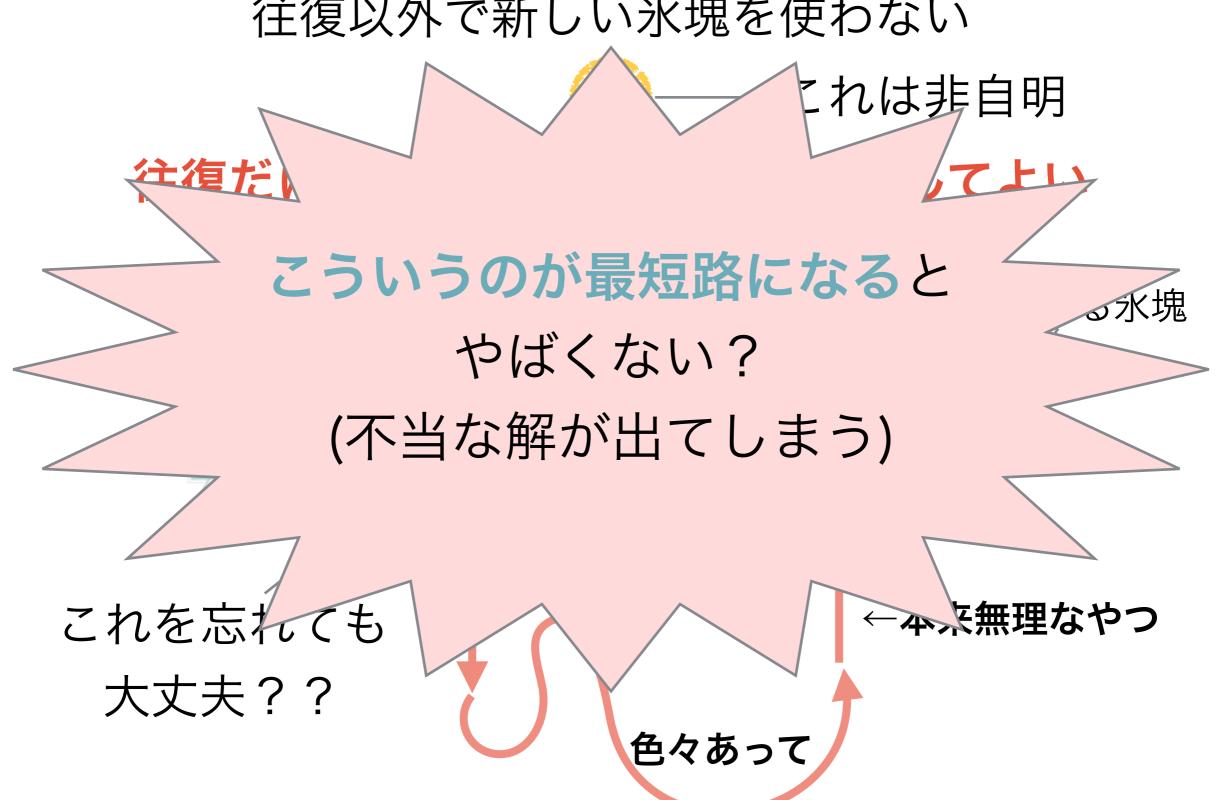


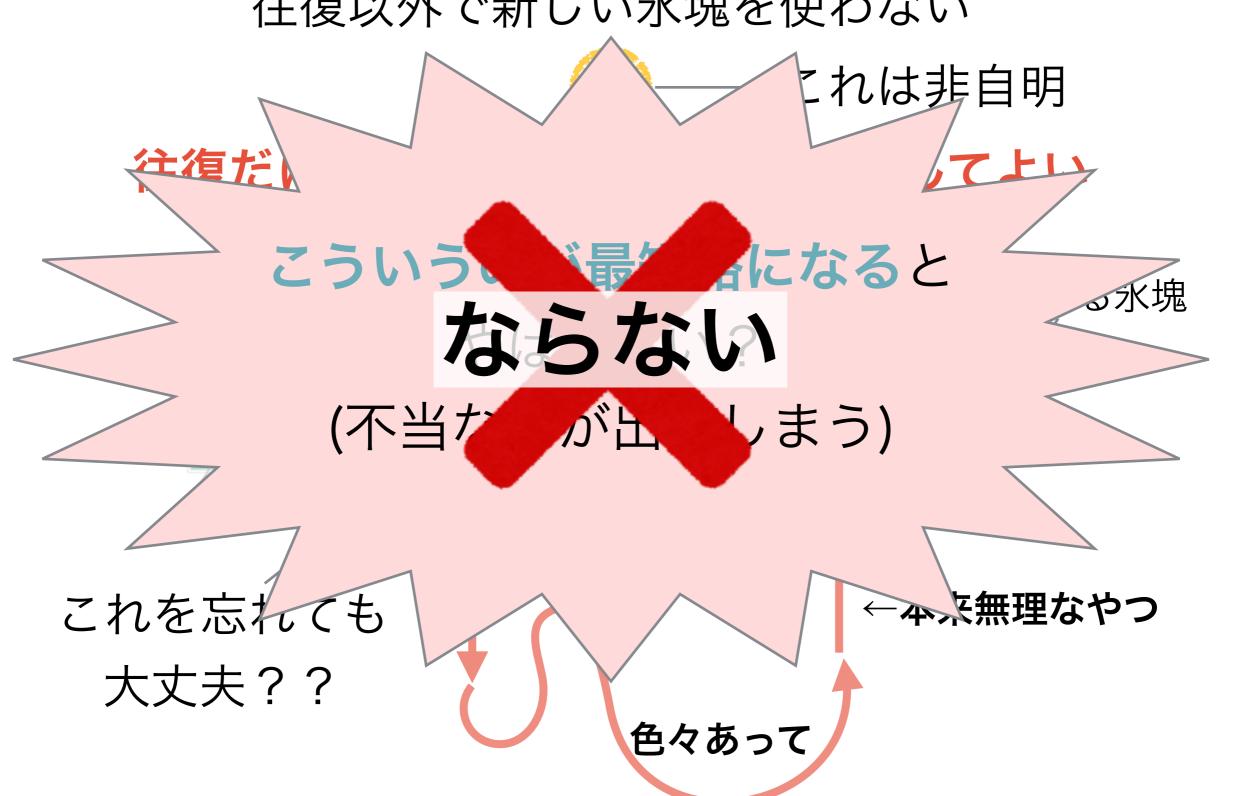


往復以外で新しい氷塊を使わない

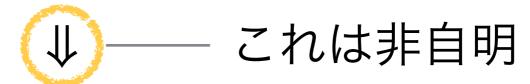


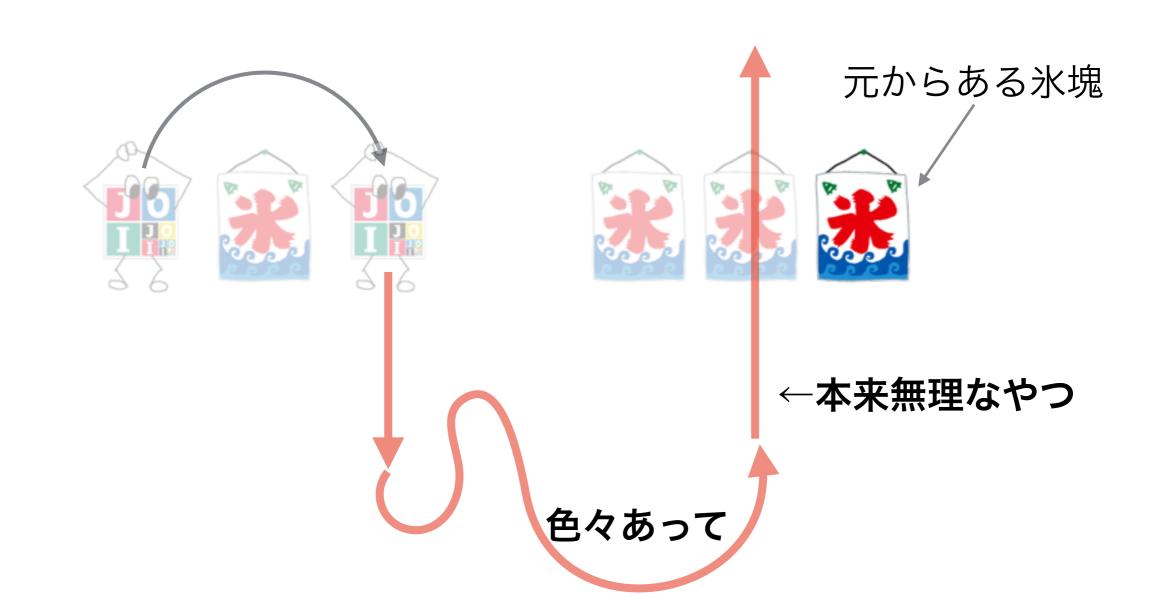




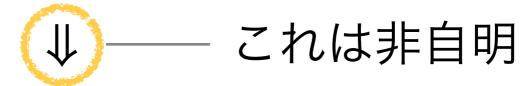


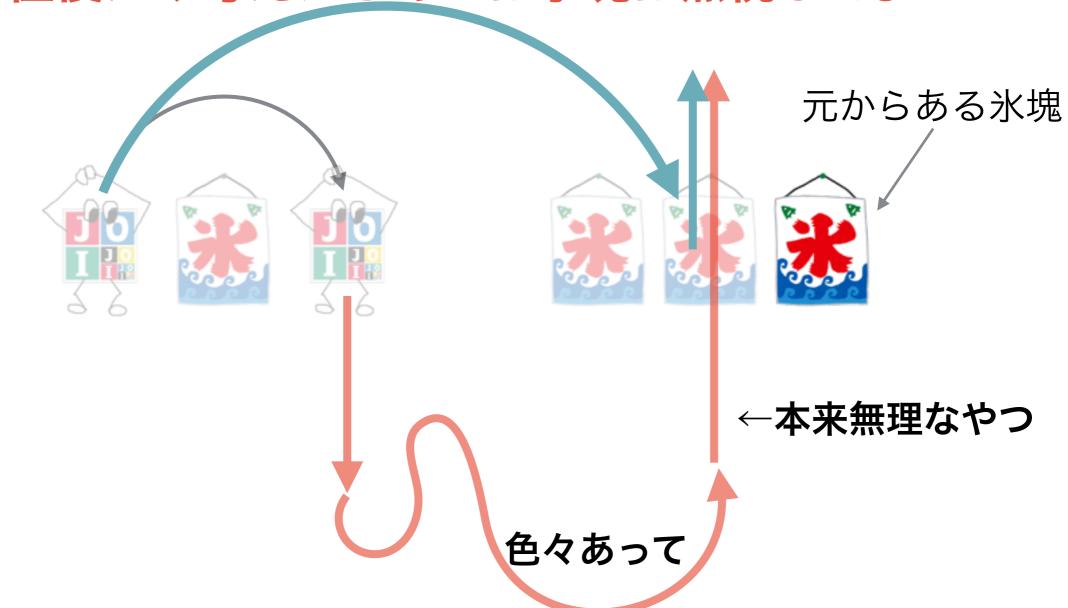
往復以外で新しい氷塊を使わない



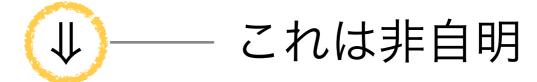


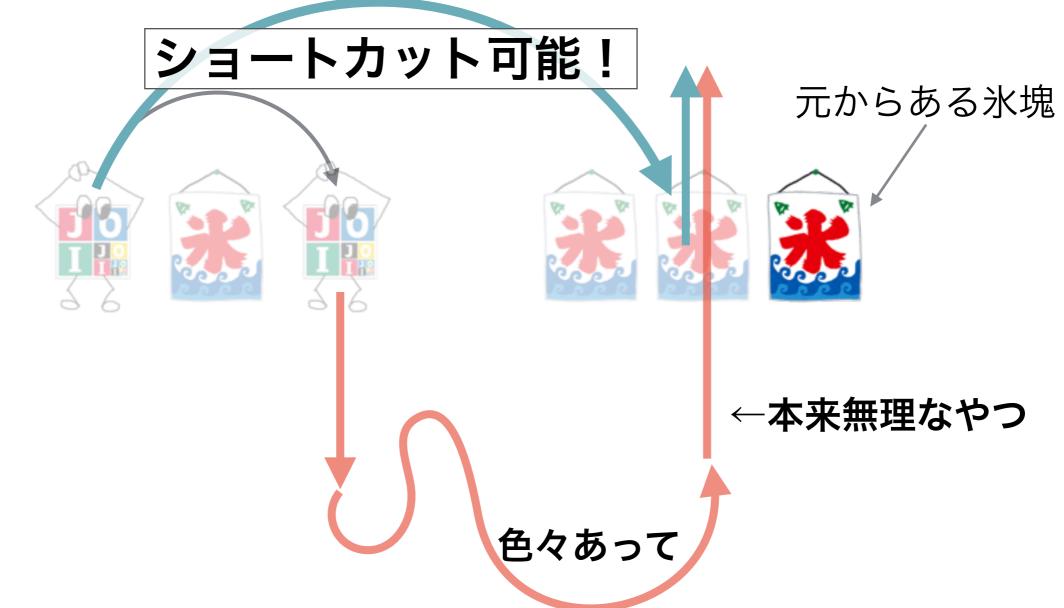
往復以外で新しい氷塊を使わない



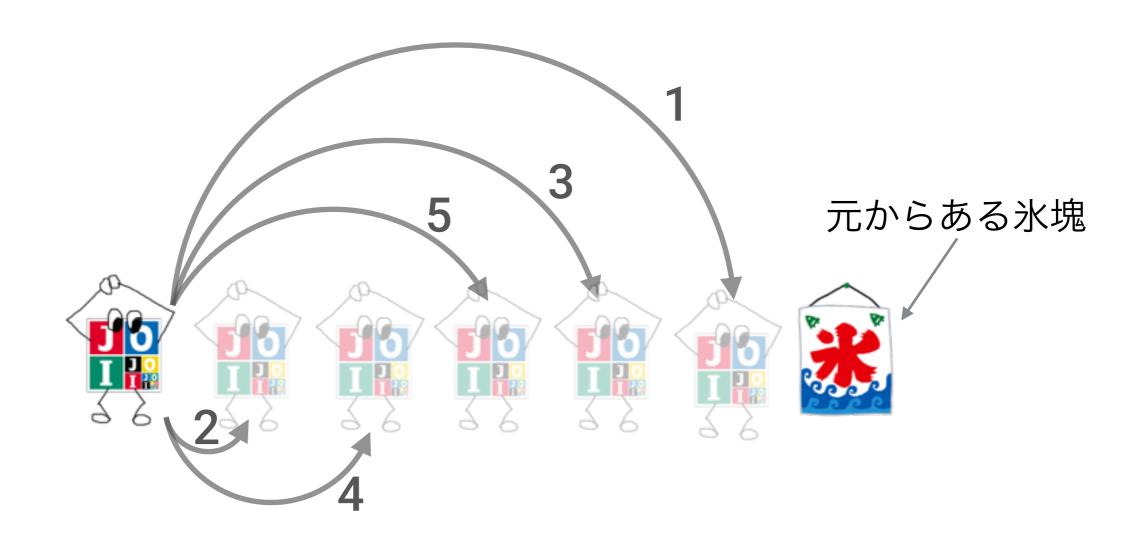


往復以外で新しい氷塊を使わない





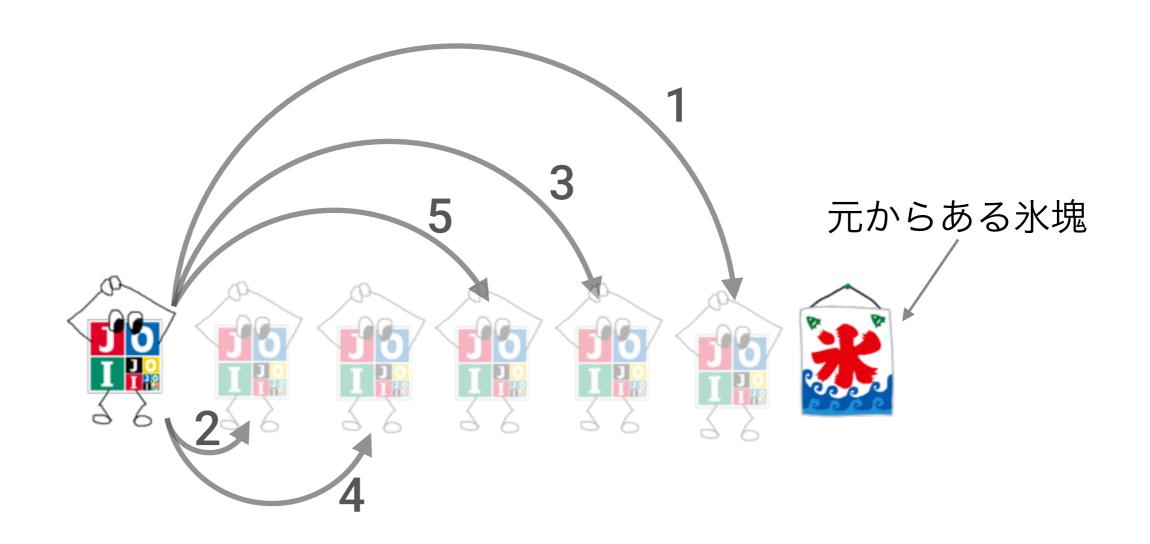
小課題 2 (65点)



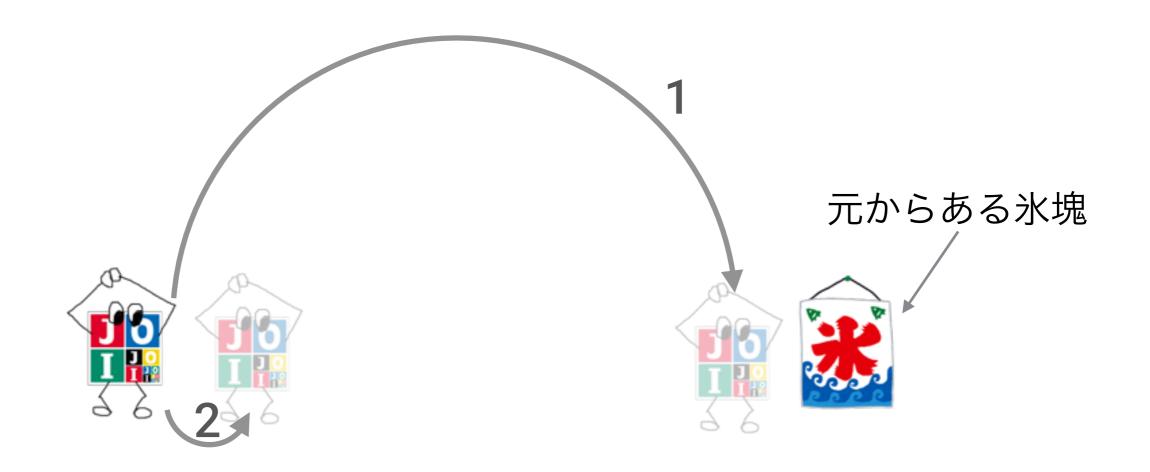
これで Dijkstra すれば、頂点数 $\mathcal{O}(RC)$ 各頂点の次数が $\mathcal{O}(R+C)$ なので計算量は

 $\mathcal{O}(RC(R+C)\log RC)$

(queue を O(R+C) 個使えば log は消える)

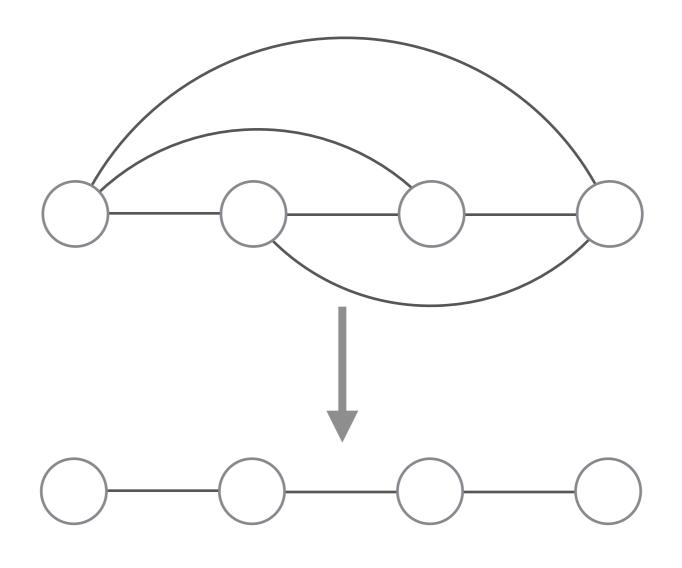


実はこれは無駄が多い



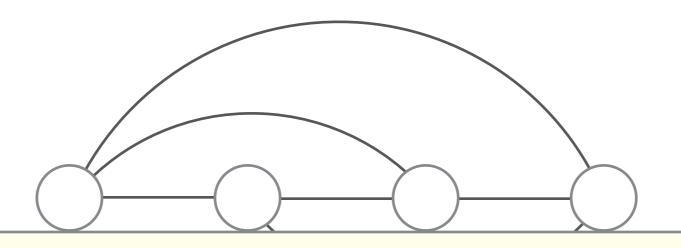
これだけで問題ない

よくある, こういうのを



こうするやつ

よくある, こういうのを



各頂点の次数が $\mathcal{O}(1)$ になって全体で $\mathcal{O}(RC \log RC)$ または $\mathcal{O}(RC)$



こうするやつ

得点分布

